

## 交通政策審議会答申「東京圏における今後の地下鉄ネットワークのあり方等について」について

令和3年7月15日

江東区長コメント

地下鉄8号線（豊洲－住吉間）の早期整備に向け、本区はこれまで国や東京都、東京メトロなどの関係機関を交えた検討会等を開催して整備計画案の熟度を高めるとともに、地下鉄8号線建設基金の積立てを開始し財源の確保にも努めるなど、不断の取組みを進めてきました。

地下鉄8号線の延伸に向けての課題である事業主体や費用負担について具体的な方向性が示され、その上で早期に事業化すべきとされた本答申は、整備実現への大きな推進力となります。

新型コロナウイルス感染症の影響により社会・経済の変化が見込まれる中で行われた今般の小委員会においても、整備の意義が高く評価されたことは、本路線が、本区のみならず、東京の持続的な成長のために必要不可欠な路線であることに他なりません。

昭和47年に初めて地下鉄8号線の亀有への分岐が答申されてから約半世紀、いよいよ事業化への最後の局面を迎えていると感じております。本答申を受け、事業化に向けた動きを加速するよう、都知事に対して申し入れたところですが、地下鉄8号線の延伸に対して追い風が吹いているこの機を逸することなく、引き続き全力で、早期の事業着手を成し遂げるための取組みを強力に進めてまいります。